

白川町 道路トンネル維持管理計画個別計画 一覧表

凡例
測定:△
工事:○

- 対象施設:黒川東白川トンネル
- 計画期間:令和3年から令和7年度
- 基本方針:トンネルの老朽化対策を確実にすすめるために、現場点検、診断、今後の対応方針、記録という流れでメンテナンスサイクルを構築する。
- 対策の優先順位と考え方:点検結果に基づき、橋梁の健全性のほか、路線の重要度などを総合的に勘案して決定する。
- 対策内容と実施時期:下記一覧のとおり。なお、**定期点検の効率化や高度化、修繕措置の省力化や費用縮減を図るため点検や対策における新技術等の活用を検討する。**
- 対策費用:下記一覧のとおり。

トンネル名	路線名	開設年次	延長(m)	幅員(m)	緊急輸送道路	点検計画								点検記録		修繕計画										R5以降 工事費 (百万円)	備考	概算工費(万円)									
						H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	最新点検 年次	判定区分	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10			修繕内容	点検	補修設計	補修工事	照明設計	照明工事	合計			
黒川東白川トンネル	黒川東白川線	2010	2070	5.5	二次		○					○		R2	II										△ ○			補修	50	次回定期点検:R7年度	800	150	170	400	3000	4520	
																																				0	
																																					0

※ 修繕計画については法定点検結果により随時見直しを行う。

※ 点検計画については次回5ヵ年計画において平準化をはかる。

※ 修繕計画は、R7年度の次回定期点検の結果、補修が必要となる変状が発生したと仮定して、補修工事をR8年度に計上する。